ご自由にお持ちください

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 秦野赤十字病院

ぴ-なっつうしん

Vol.25
2025.2

令和６年度　赤十字救急法講習会の開催について

日本赤十字社では、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、全国で各種講習会を実施しています。赤十字救急法は、一次救命処置を行うために必要な知識や技術、また急病や怪我の手当、搬送方法等について学ぶ講習です。

当院では今年度、6月に救急法、11月に幼児安全法と健康生活支援講習を開催し、多くの方にご参加いただきました。令和7年3月にも以下の通り、救急法を開催いたしますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

〈開催概要〉

- 開催日　令和7年 3月14日(金)～3月16日(日)　9:00～17:00
- 会場　秦野赤十字病院　講習室
- 受講費用　3,600円
- 受講資格　満15歳以上の県民の方
- 申し込み方法　メール[koushu@hadano.jrc.or.jp]

講習名・氏名・フリガナ・郵便番号・住所・年齢・性別・電話番号・緊急連絡先をご記載の上、お送りください。

詳細は日本赤十字社神奈川県支部ホームページの救急法講習の開催日程・場所一覧でもご確認いただけます。

・申し込み期間 令和6年12月16日（月）～令和7年2月28日（金） ※先着順

マイナ保険証をご利用ください

2024年12月2日から現行の保険証は発行されなくなります

健康保険証として使用するメリット

一人ひとりの過去の診療・薬剤情報などに基づいたより良い医療が受けられます

医療機関・薬局に受診等した際、診療・薬剤・特定健診情報の提供に同意すると、ご自身の情報に基づいた診断や重複する投薬を回避した適切な処方や指導などを受けることができます。

高額な医療費が発生した場合でも書類での事前申請や高額な立替が不要になります

突然の手術や入院で高額な医療費が発生した場合でも、事前の申請や高額な立替払いをせずに、高額療養費制度が適用され、一定額以上の支払いがその場で不要になります。

イベント「秦野市市民の日」に参加しました

当院は、令和6年11年3日（日・祝）に開催された、第45回「秦野市市民の日」のイベントに出店し、市民の皆さまに健康や災害救護活動、訪問看護ステーション等に関する情報をお届けしました。

今年度は瀧沢院長からの提案により、国立病院機構 神奈川病院との共同でブース出店を行い、290人（前年度対比：121.3%）が来場。市民の皆さまへ安心・安全で質の高い医療を提供することをPRしました。

今後も市民の方と触れ合う機会を大切にし、医療サービスの向上や赤十字事業の推進に取り組んでまいります。

〇主なイベント内容

- 健康チェック（血圧測定・血糖値測定）
- 健康相談
- 訪問看護ステーションPR
- 救護活動紹介パネル展示
- 救護服撮影
- 来場者アンケート
- 非常食配付

災害拠点病院として、令和6年度院内総合防災訓練を実施

令和6年9月27日(金)～28日(土)に、内閣府主催により実施された「令和6年度大規模地震時医療活動訓練」に併せて当院は、28日(土)多数傷病者受入訓練を行いました。各部署から職員82名が参加し、傷病者や搬送役として各赤十字奉仕団員や防災ボランティア、近隣の看護学生等37名の皆さんにご協力をいただきました。

今年度の実施に向けて、令和6年能登半島地震での救護活動の経験を生かし、院内研修を9回実施。延べ288名の職員が参加し、災害医療やトリアージ、災害診療記録等について学んだ後、机上訓練を実施し訓練に臨みました。

また、院内医療対応班を新たに設けて、各エリアから入院患者を受け入れるまでの準備や調整を、実際に即した訓練として行いました。

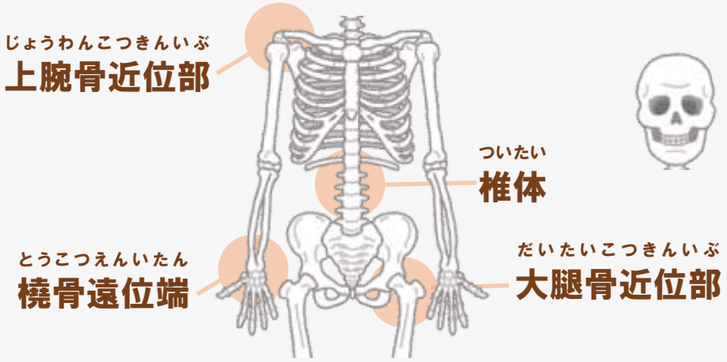
ボランティアとしてご協力いただいた看護学生の皆さんからは、「実際の災害時の緊迫感を感じることができた。ドラマで見てるのとは違って、医師が判断したことを看護師や各医療従事者が迅速に対応していることを体感できた」「治療だけでなく、どんな状況下でも被災者への配慮を怠らず、こころのケアまで対応する赤十字に魅力を感じた」等の感想がありました。

今後も災害拠点病院として訓練や経験を重ね、赤十字の責務である災害への対応に努めていきます。

骨粗しょう症治療のご紹介

骨粗しょう症による骨折は、骨量減少や骨質劣化により骨強度が低下し軽い外力でも起こる骨折(脆弱性骨折)です。

骨粗しょう症による4大骨折



骨粗鬆症による4大骨折は生活の質に大きな影響を及ぼし、命に係わる問題に発展する場合があります。

秦野赤十字病院　再骨折予防チーム、通称「骨コツケアチーム」は、さまざまな職種(医師、看護師、薬剤師、リハビリ訓練士、栄養士、相談員、放射線技師)のメンバーで、患者さんの健康や生活に関わるいろいろな情報を共有して継続的な骨折患者さんの骨粗しょう症ケアを行ってまいります。

はだの骨粗しょう症診療ネットワーク

当院(基幹病院)

- 骨粗しょう症ケアの開始
- 骨粗しょう症の評価
- 治療方針の確定
- 治療開始
- 副作用評価

診療所(かかりつけ医)へ治療継続の依頼をします。

診療所(かかりつけ医)

- 治療継続
- 副作用評価
- 骨密度検査(検査紹介)
- 結果評価
- 骨粗しょう症治療継続

必要に応じて基幹病院へ患者紹介・相談をします

医療機関ごとに役割分担をして地域全体で骨粗しょう症診療に臨んでまいります。

- 骨粗しょう症治療の経過評価
- 治療方針の調整
- 副作用評価

治療継続依頼をします